

## 平成 30 年度健康サポート薬局研修会開催について

開催日時：平成 30 年 7 月 22 日（日）9:00～18:20

会 場：青森県立保健大学 教育研究 A 棟 A 1 1 2 中講義室

に於いて、上記 研修会を開催いたしましたのでご報告いたします。

今回で 3 回目となる「健康サポート薬局研修会」1 年目、2 年目に比較し参加人数は減少したものの、どこの県でも同様な傾向にあるようです。

健康サポート薬局研修終了者については情報公開制度での公開項目になり、今後も積極的な研修参加が望まれます。

今回の省令改訂は 2019 年 1 月施行ですが、(1) 健康サポート薬局に係る研修を修了した薬剤師の人数については、青森県薬剤師会では「健康サポート薬局研修会」については年 1 回の開催のため、過年度に受講した方と今回の受講者が最初の報告人数に該当する事になります。また、他のプロバイダでの受講者も対象となります。修了証の有効期限は 6 年間ですが、有効期限の 2 年前から有効期限の間に「研修会 A」を再履修されますと、修了証を更新することができます。

また、A 研修、B 研修を終了している【受講証明あり】が、e-ラーニング【未終了】

青森県薬 1 回目 2016 年 8 月 28 日受講者については、有効期限 3 年間ですので、失効してしまう前に e-ラーニングを受講し 3 通の受講証明とともに【修了証】の申請をしないと失効してしまいますので、ご注意ください。

「薬局機能情報提供制度」の項目を拡充するための改正省令が出され、改正省令は、2019 年 1 月 1 日に施行される。改正（追加）内容については下記となる。

### (1) 健康サポート薬局に係る研修を修了した薬剤師の人数

- (2) 電磁的記録による薬剤服用歴管理の実施の有無
- (3) 薬剤情報を電磁的記録により記載するための手帳を所持する者の対応の可否
- (4) 地域医療情報連携ネットワークへの参加の有無
- (5) 退院時の情報を共有する体制の有無
- (6) 受診勧奨に係る情報などを医療機関に提供する体制の有無
- (7) 副作用などに係る報告の実施件数
- (8) 医療安全対策に係る事業への参加の有無
- (9) 医療を受ける者の居宅などにおいて行う調剤業務の実施件数
- (10) 健康サポート薬局に係る研修を修了した薬剤師が地域ケア会議その他地域包括ケアシステムの構築のための会議に参加した回数
- (11) 患者の服薬状況などを医療機関に提供した回数

今回の研修会の内容は下記でしたが、A 研修の内容もより充実し、実習についても、今年度から変更となっています。参加された方は、1 日健康サポート漬けとなるわけですが、会場は非常に快適で、設備の充実もありましたが、非常に暑い日でしたので、エアコンを最大にしても、参加者の熱気と、特別講師の方々の情熱あふれるお話で会場をクールダウンさせる事は出来なかったです。

毎回、分刻みのタイトなスケジュールですが、更新者と新規の方が混在する時期には、A 研修と B 研修を、分けて行う事も検討していく必要もあるでしょう。

B研修に関しては、磯木副会長が担当、また委員の皆さんにもご協力いただき無事全行程を修了する事ができました。

今回は、地域で活躍されておられる下記の皆様に、健康サポート薬局に期待する事・必要な知識などについてご協力いただきました。

#### 研修会A 健康サポート薬局のための他職種連携研修

9:00～9:10 あいさつ 研修会の流れの説明（青森県薬剤師会会長 木村 隆次）

9:10～9:50 基本理念

-1 健康サポート薬局の基本理念（日本薬剤師会 DVD）

-2 健康サポート薬局の理念～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師

（青森県薬剤師会会長 木村 隆次）

9:50～11:10 地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と役割の現状

-1 青森県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待

（青森県健康福祉部医療薬務課薬務指導グループ 三浦 拓氏）

（青森県健康福祉部がん・生活習慣病対策課健やか力推進グループ主幹 青木 範子氏）

-2 他職種、保険者等の取組

行政と連動した地域の取組み

（弘前大学大学院医学研究科社会医学講座教授 中路 重之氏）

健康づくりの取組み

（青森県国民健康保険団体連合会保健活動推進専門員 澤谷 悦子氏）

-3 当該地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源について

（青森県薬剤師会会長 木村 隆次）

演習

11:20～11:35 -1 アイスブレイク 「健康サポート薬局とは」

11:35～12:10 昼食

12:10～13:30 -2 ケーススタディ（青森県薬剤師会副会長 青柳 伸一）

地域包括システムの中で健康サポート薬局としての役割を發揮するための各職種・機関との連携による対応等に関する演習



弘前大学大学院医学研究科社会医学講座  
教授 中路 重之先生



青森県薬剤師会 会長 木村 隆次先生

## 健康サポートのための薬剤師の対応研修会【研修会B】

### 次 第

薬局利用者の状態把握研修の説明（14:00～14:10）

青森県薬剤師会 副会長 磯木 雄之輔

研修の目的、SGD のメンバー・リーダーについて、レポート提出について

1. 薬局・薬剤師を巡る現状と健康サポート薬局（14:10～14:30）

（青森県薬剤師会 会長 木村 隆次）

2. 薬局利用者の状態把握と対応（演習）（14:30～18:05）

題材：頭痛

講義、グループワーク、ロールプレイ等を通じ、薬局利用者の相談内容から適切に情報を収集し、状態、状況を把握し、それに合わせた適切な対応を行う力を身につけます。

講師：昭和大学薬学部薬理学講座 医科薬理部門

教授 木内 祐二 先生（DVD 講義）

演習進行：（青森県薬剤師会 副会長 磯木 雄之輔）

3. まとめ（18:05～18:10）

4. レポート作成（18:10～18:20）



青森県薬剤師会 副会長 磯木 雄之輔先生